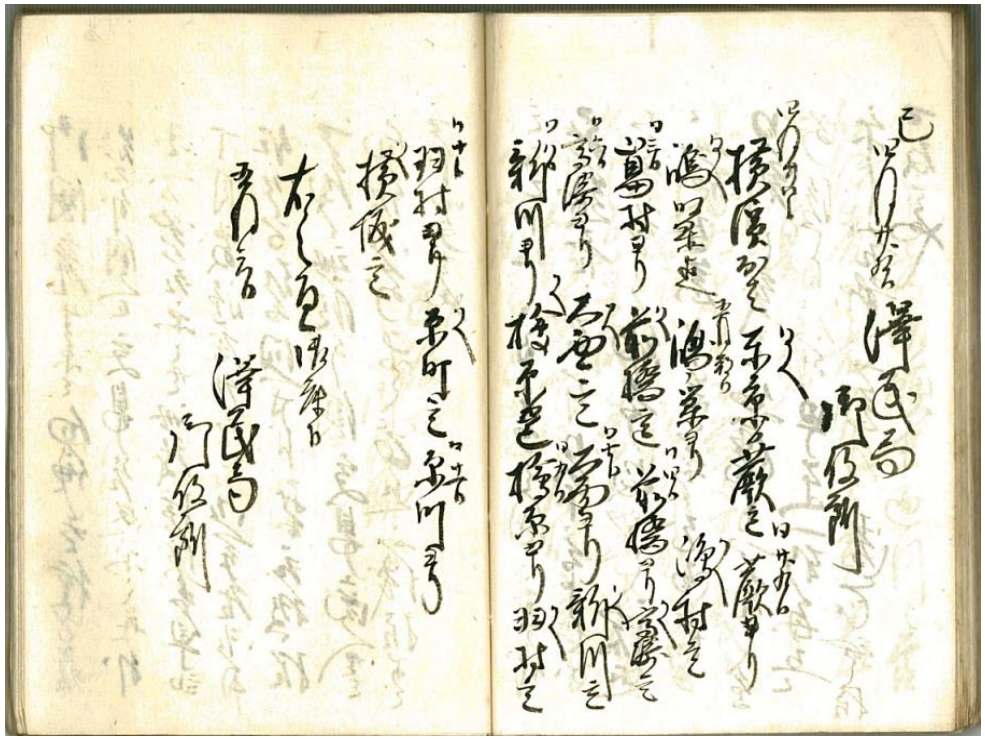

【史料③釈文】

（前略）

四月廿八日　横濱出立
同日　東京ゟ蕨迄
同廿九日　蕨ヨリ
同日　鴻巣迄
五月朔日　鴻巣ヨリ
同日　嶋村迄
同三日　嶋村ヨリ
同日　前橋迄
同四日　前橋ヨリ
同日　高崎迄
同六日　高崎ヨリ
同日　大宮迄
同七日　大宮ヨリ
同日　新川迄
同八日　新川ヨリ
同日　檜原迄
同九日　檜原ヨリ
同日　羽村迄
同十日　羽村ヨリ
同日　原町迄
同十一日　原町ヨリ
同日　横濱迄

右之通御座候

五月三日　澤民局
御役所

③〔御用留〕（伊太利亜公使来県・国産生糸製作ほか）

明治２（１８６９）年

これは、前橋藩の沢民局（たくみんきよく）から支配村々に出された、イタリア公使ヴィクトリオ・サリエール・デ・ラ・トゥール一行の道筋と到来予定日の一覧です。これによれば、４月28日横浜を出立し、東京・蕨（埼玉県）・鴻巣（同）を経て５月３日嶋村（群馬県伊勢崎市）に宿泊、のち前橋・高崎を廻り、大宮（埼玉県秩父市）・新川（同市荒川）を経て、檜原（ひのはら）・羽村（はむら）・原町田（東京都町田市）を通行し、５月11日に横浜に戻ることが伝達されています。

前橋市・中島正家文書　P08814　No.56